

一般社団法人日本形成外科学会  
2024 年度小児形成外科分野指導医認定試験

2024 年 10 月 17 日(木) 筆記試験 14 時 30 分～15 時 00 分【30 分】  
場所:〒135-8625 東京都港区台場 1-9-1 ヒルトン東京お台場  
1 階 小宴会場「椿」・「梅」

※本書は試験終了後回収いたします。

氏名	
----	--

《1》頭位性斜頭について正しいものはどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) 水頭症を伴う
- b) 大泉門の閉鎖を伴う
- c) 耳介の位置異常は伴わない
- d) 前額の形態に左右差は生じない
- e) 出生後からの向き癖により増悪する

《2》口唇口蓋裂患児において、鼻咽腔閉鎖機能を評価するために用いられる主な検査法はどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) 口腔内内視鏡検査 (Intraoral endoscopy)
- b) 超音波検査 (Ultrasonography)
- c) バリウム嚥下検査 (Barium swallow study)
- d) 気流測定法 (Aerodynamic assessment)
- e) 経鼻的鼻咽腔内視鏡検査 (Nasopharyngoscopy)

《3》先天性眼瞼下垂における Marcus Gunn 現象について誤りはどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) 眼瞼挙筋と外側翼突筋との連合異常である
- b) 口を開けると同時に上眼瞼が挙上する
- c) 年齢とともに軽快する傾向がある
- d) ほとんどが孤発性である
- e) 両側性が多い

《4》ヒト手の発生に関して、正しいものはどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) 受精後 6~10 週を器官形成期と呼ぶ
- b) 受精後 10 週終わりに手板ができる
- c) 受精後 6 週に軟骨化が始まる
- d) 肢芽の形成には 2 つの軸が存在する
- e) AER (外胚葉頂堤) は主に前後軸の形成を制御する

《5》以下のうち、誤った記述はどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) 人の肋軟骨－肋骨移行部は、年齢が上がるにつれて内側に移行する傾向にある
- b) ナス法の手術を行った後、脊椎側弯が改善する場合より、悪化する場合の方が多い
- c) ナス法は非対称性変形の漏斗胸より対称性の症例に適している
- d) ナス法で矯正バーを装着した患者に対して救急蘇生を行う際、心臓マッサージの効果は通常に比べて減弱する
- e) 肺に多数のブラを有する患者に対してナス法を行うにあたっては、気胸の発生に十分注意する必要がある。

《6》トリーチャー・コリンズ症候群の症状でないのはどれか、二つ選べ。

選択肢

- a) 下眼瞼の部分欠損
- b) 伝音性難聴
- c) 先天性顔面神経麻痺
- d) 両側性小顎症
- e) 甲状腺機能異常

《7》次の中で正しいものはどれか、二つ選べ

選択肢

- a) 脂腺母斑は脱毛斑の原因とはならない
- b) リンパ管奇形の硬化療法は、大嚢胞状の方が小嚢胞状よりも反応しやすい
- c) 類皮嚢腫 (dermoid cyst) は、小児の前頭頬骨縫合近傍に好発する
- d) 先天性巨大色素性母斑内の悪性黒色腫発生の多くは成人以降である
- e) 神経線維腫症Ⅱ型では、悪性末梢神経鞘腫瘍を合併する

《8》ケロイドの治療として誤りはどれか、一つ選べ。

選択肢

- a) トラニラストの内服
- b) 副腎皮質ホルモン含有テープの貼付
- c) ピシバニールの局所注射
- d) 放射線治療
- e) 手術

**裏面にも問題がございます（全10問です）**

《9》小児の熱傷についての文章で誤ったものを一つ選べ。

選択肢

- a) 熱傷面積の算定法として手掌法、9の法則を用いる
- b) 15歳以下の受傷原因として高温液体が最も多数を占める
- c) 非露出部、背部などの境界明瞭な熱傷は虐待も考慮する
- d) 経口摂取が可能であればrefilling期を待たずに開始する
- e) 手の熱傷は成人に比べ手掌の受傷が多い

《10》小児の顔面骨骨折についての文章で誤ったものを二つ選べ。

選択肢

- a) 若木骨折が多い
- b) 関節突起部骨折は可及的早期に整復固定を行う
- c) 小児の顔面骨骨折で最も頻度が高いのは鼻骨骨折である
- d) 小児のblowout骨折は成人に比べて頻度が高い
- e) 小児のblowout骨折で外眼筋絞扼のあるものは緊急手術の適応である